ふじさわ市議会だより

FUJISAWA CITY COUNCIL NEWSLETTER

令和８年
９月定例会
定例会は年に４回
6月 9月 12月 2月
No.263
令和８年
１１月１０日発行



Topic

未来へつなぐ決算審査！
より良い藤沢市へ



藤沢市の
こんなことが決まりました



９月定例会では市長提出議案４２件、議員提出議案２件を審査しました。
ここでは一部をお知らせします。

補正予算

議案第４８号

防犯カメラの更新・設置補助を行います

藤沢駅北口に市が設置している街頭防犯カメラ（３台）の更新および自治会・町内会などが設置する防犯カメラ（２４台）の設置費の一部を補助します。

補正額	6,524,000円



補正予算

議案第４８号

放課後児童クラブの新設を補助します

藤沢市子ども・若者共育計画に基づき、新設整備費用の一部を負担します。

小学校区	定員（予定）	開所（予定）
明治	６０人	令和９年４月
村岡	６０人	

補正額	25,660,000円



補正予算

議案第48号

廃棄物の処理に係る経費を増額します

リサイクルプラザ藤沢の復旧工事などに伴う設備の停止期間中に排出される廃棄物を適正に処理するための経費を増額します。

補正額	27,039,000円



補正予算

議案第４９号

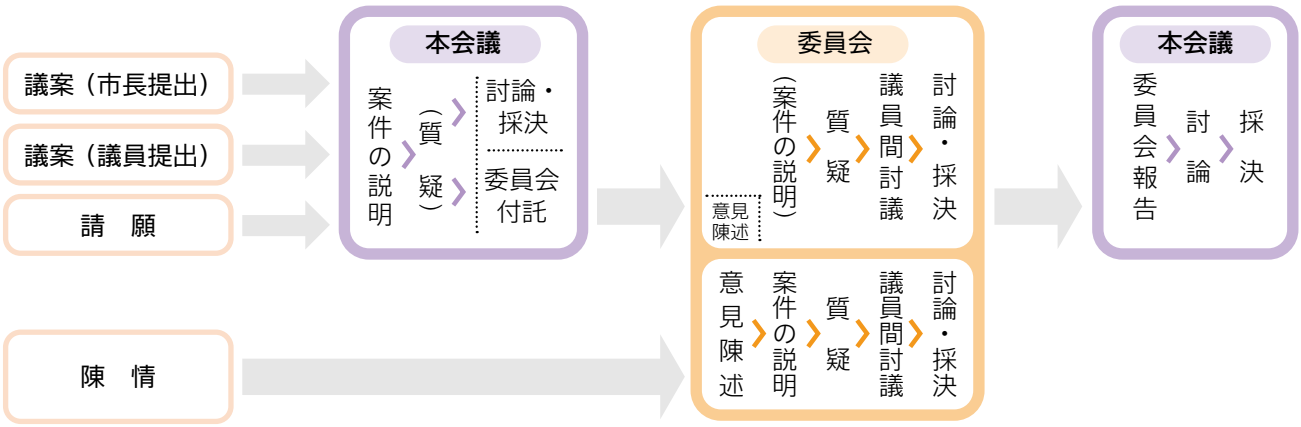
藤沢市民病院の業務効率化・職場環境改善を進めます

ＩＣＴ機器などの導入により業務効率化・職場環境改善に取り組み、効率的で質の高い医療提供体制を構築します。

補正額	77,379,000円



定例会のながれ



財産の取得

議案第２２号

災害用トイレを新たに購入します

災害時の快適なトイレ環境を実現するため、災害用自動ラップ式トイレを購入します。

数　　量	162セット
取得金額	49,005,000円
取得時期	令和8年12月25日



自動ラップ式トイレ

契約締結

議案第２４・２５・２９号

小中学校の空調設備更新および新設工事を行います

次のとおり工事請負契約を締結します。

富士見台小学校（機械設備工事一式）

契約金額	302,500,000円
しゅん工予定	令和10年2月29日

富士見台小学校（電気設備工事一式）

契約金額	182,600,000円
しゅん工予定	令和10年2月29日

片瀬中学校（機械設備工事一式）

契約金額	498,300,000円
しゅん工予定	令和10年2月29日

人事案件

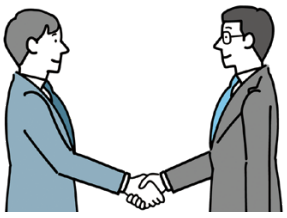
教育委員会委員などが決まりました

（敬称略）

●教育委員会委員
　作田　和茂

●固定資産評価審査委員会委員
　石原　直明

●個人情報保護審査会委員
　井原　綾子



意見書

意見書を提出しました

非核三原則の尊重と堅持を求める意見書

国会及び政府におかれては、非核三原則を尊重し、堅持するよう当市議会は強く要望する。

原文はこちら

決算特別委員会

令和７年度の 決算を審査 こんな質問がありました



令和７年度決算関係議案における質問・答弁の一部をお知らせします。

1 女性特有の課題への支援

Q　市役所トイレに生理用品を設置する実験実証が行われたが、その結果は。（日本共産党藤沢市議会議員団）



A　令和７年８月から７年１０月までの間、２５１５枚の利用があった。継続的な提供には課題があるが、他市の状況も注視し、継続可能な配布方法を研究する。

2 保育士の確保策

Q　保育士の資格を持っているが保育の仕事をしていない方の雇用に対する取り組み状況は。（民主クラブ藤沢）



A　公立保育園において保育体験を実施している他、常勤・非常勤問わず就労奨励助成金の支給などを行っており、令和７年度は３１人の潜在保育士が再就職した。

3 持続可能な児童クラブ運営

Q　学校内に児童クラブを設置することついて、試行実施の可否を判断できる状況なのか。（市民クラブ藤沢）



A　学校を活用するタイムシェア型児童クラブは持続可能な事業の観点から有効と捉えている。まずは、学校施設の活用可能性の調査に向け、調整を進めたい。

4 循環型社会を目指して

Q　令和７年１１月にオープンしたジモティースポットの効果と施設の意義は。（湘風維新無所属の会）



A　令和７年度は約８５トン、８年度は８月末時点で約１２８トンの減量効果があった。意義としては、市民のリユース意識の向上、循環型社会の形成と考える。

5 全品目戸別収集に向けて

Q　宮原自治会で試行されたごみの全品目戸別収集の検証結果は。（民主クラブ藤沢）

A　開始当初は排出場所や曜日の間違いがあったが、現場での説明などを行い、大きな問題もなく順調に試行できたと考えている。



6 女性の消防団員確保策

Q　避難所では、女性視点が欠かせない。女性消防団員の確保に向けた取り組みは。（藤沢市公明党）



A　女性が参加するイベントでの広報や本市女性消防団員の活動をＳＮＳなどで積極的に広報するなど、魅力ある姿を発信し、入団促進の強化を図っている。

7 大庭台墓園の今後の墓地形態

Q　ペットは最愛の家族である。ペット墓地の導入を進めてほしいと考えるが市の見解は。（市民クラブ藤沢）



A　昨年実施した調査で、ペット墓地など新たな墓地形態に対する関心が高いことから、動物専用の墓地あるいはペットと一緒に入れる墓地の導入を進めていきたい。

8 要介護認定事務処理

Q　要介護認定の申請受け付けから認定結果通知までの平均所要日数と今後の取り組みは。（湘風維新無所属の会）



A　令和７年度は約５６日、直近の８年８月末時点では約４７日である。申請件数が増加しているが、業務改善を図り、１日でも早く結果を届けられるよう引き続き努力していく。

各会派の意見・要望



ここでは、決算に対する各会派の意見・要望の要旨をお知らせします。

市民クラブ藤沢

費用負担と事業効果を十分検証したまちづくりを

①ふるさと納税制度の寄付獲得強化を②鵠沼市民センターの防災機能を重視し、改築事業の早期再開を③ご遺族手続支援窓口のワンストップ化と支援体制の充実を④自転車のマナー啓発の強化を⑤警察などと連携し、闇バイトへの加担防止に向けた実践的啓発を⑥小児医療費助成の適正受診・制度の検証、必要な受診への配慮を⑦産後ヘルパーの利用対象の拡充を⑧受動喫煙の実態を把握し、喫煙所の在り方の見直しを⑨災害時の医薬品備蓄管理の効率化、供給体制の強化を⑩民泊規制条例の早期制定を⑪健康経営の普及と就労支援の充実を⑫第一次産業事業者への物価高騰支援を⑬企業立地支援の神奈川県との連携、成長産業誘致、支援制度の見直しを⑭いずみ野線延伸の早期実現と辻堂駅周辺の渋滞解消の継続的な取り組みを⑮村岡地区都市拠点整備の費用負担と事業効果の継続的な検証を⑯不登校児童生徒の社会的自立につながる支援の充実を

湘風維新無所属の会

未来への投資と持続可能な市政運営に向けて

①旧辻堂市民センター跡地は早期有効活用を②証明書交付事務は業務改善で待ち時間の短縮を③既存の枠組み活用で市民をつなぎ介護人材不足の解消を④要介護認定は早期に３０日以内の達成を⑤多様な体験機会の提供はこども未来基金の活用を視野に⑥海水浴場安全対策は現状把握・分析による強化を⑦新産業の森整備による財政基盤強化で未来の発展を⑧村岡新駅周辺整備は神奈川県と連携し新たな産業集積を⑨老朽化した消防出張所は計画的な再整備を⑩研究者と学校の連携で理系教育の充実を⑪八ヶ岳野外体験教室の価値を未来へ

日本共産党藤沢市議会議員団

市民生活最優先となる税金の使い方を

①村岡新駅と周辺開発は中止を含めた抜本的見直しを②中学校給食は全員制の実現を③国民健康保険などの窓口民間委託の見直しを④スズメバチの巣撤去業務の全面復活を⑤市民農園廃止はやめ現行制度継続を⑥湘南なぎさ荘とやすらぎ荘は修繕を行い継続を⑦市営住宅は必要な居室を改善し家賃補助制度の創設を⑧国民健康保険資格確認書の交付は市が継続を⑨小中学校トイレの改修促進を

民主クラブ藤沢

９月定例会会期中に、新会派「民主クラブ藤沢」が発足

民主クラブ藤沢は、「働く方々の味方」となる会派として、市民生活の安定と向上に資する政策提言に、全力で取り組んでいく。何よりも強く訴えたいのは、まっとうに働く方々の賃上げを通じて、確実に手取りを増やしていくことの重要性である。生活を支える所得の向上があってこそ、地域経済の好循環は生まれる。従って、厳しい財政状況でも本市職員の安易な賃下げは避け、物価高や人手不足に対応した処遇改善を行うべきである。職員は行政サービスを支える藤沢市の「宝」であり、人材確保のためにも、政治的思惑によらない真摯な労使合意に基づく処遇決定が不可欠である。

藤沢市公明党

将来に負担を残さない持続可能で透明性の高い財政運営

①財政調整基金の回復と不測の事態へ備えた財政運営を②浸水などへの安全対策を着実に③防犯カメラは必要性を把握し計画的な設置を④防犯カメラ機能付き自動販売機の増設を⑤骨密度検査など健診項目の充実を⑥ご遺族手続支援窓口のワンストップ化を⑦朝の居場所確保など小１の壁の対策を⑧就学前健康診断で弱視の早期発見を⑨誰もが安心して歩けるまちを目指し指針策定を⑩多世代滞在型の南市民図書館整備を⑪ＤＸを進め持続可能な行政経営への転換を

アクティブ藤沢

誰も責任を取らずにピンチをチャンスに変えられない

共創で課題解決うたう施政方針の予算賛成したが村岡新駅市負担は議会に諮られず共創ではない。責任取ってリセットし、財政ピンチをチャンスに変えよう。

無所属藤沢

市の改革案はぬるい　費用対効果に問題のある事業多数

せっかく民間の監査法人に約３０００万円払って出た市の業務分析結果を生かしきれてない。業界団体や一部の声の大きな方々の意見に惑わされず改革断行を。

藤沢・凛新の会

確かな公助と民間連携で誰もひとりにしない支え合いへ

①災害関連死を防ぐ避難所へ！災害派遣福祉チーム（DWAT）との連携と女性視点で進める支え合い体制②おひとりさまの終活に最期まで寄り添う公的支援を

常任委員会・特別委員会の動き



委員会は、少人数の議員で構成し、議会に提出された議案や請願・陳情、市が行っている事業や計画などの審査・調査をする会議のことです。
ここでは、委員会の審査・調査内容についてご紹介します。
２次元コードを読み込むと当日の様子（録画中継）をご覧いただけます。

建設経済 常任委員会

９月４日に議案３件を審査しました。
また、藤沢市住宅マスタープランの改定について（中間報告）の報告を受けました。

ここに注目！ 住宅マスタープランを改定

●社会情勢の変化を踏まえ、現計画を継承しつつ、幅広く包括的な施策を推進するため、名称を「藤沢市住生活マスタープラン」に変更し、改定を進めています
●住まいに関わる全ての人が正しい知識に基づき、それぞれの状況に応じて適切に選択・判断することを最も重要な点として捉え、住宅施策を総合的に展開していきます
●パブリックコメントを実施後、令和９年３月に改定予定です

厚生環境 常任委員会

９月７日に議案４件、請願１件、陳情５件を審査しました。
また、①藤沢市地球温暖化対策実行計画「重点施策アクションプラン２０３０」の策定について（中間報告）、②藤沢市一般廃棄物処理施設整備基本計画の策定（改定）について（中間報告）の報告を受けました。

ここに注目！ 重点施策アクションプラン２０３０を策定

●現行の地球温暖化対策実行計画の中間見直しとして、国内外の動向などを踏まえ、２０３０年度に向けた具体的な施策をまとめ、目標達成に向けた取り組みを加速させます
●本プランの実施に当たっては、市民や事業者などと行政の連携体制を構築し、ＰＤＣＡサイクルによって進行管理を継続的に行います
●パブリックコメントを実施後、令和９年３月に策定予定です



藤沢市役所屋上の太陽光パネル

子ども文教 常任委員会

９月８日に議案３件を審査しました。
また、①公立保育所の今後の方向性について、②藤沢市立学校適正規模・適正配置第１期実施計画の進捗についての報告を受けました。



ここに注目！ 適正規模・適正配置第１期実施計画の進捗

●本計画では、３１クラス以上の過大規模校の解消を第一優先とし、その解消に向けて、通学区域を見直すこととしています。今回新たに通学区域（素案）を作成しました
●市民の意見を踏まえ、通学区域最終案に向けた検討を行い、令和９年２月市議会定例会で最終案を報告し、３月教育委員会定例会で新たな通学区域を決定する予定です

総務 常任委員会

９月９日に議案２件、請願１件、陳情１件を審査しました。
また、公共料金の見直しについて（改定案再報告）の報告を受けました。

ここに注目！ 公共料金を再見直し

●令和８年６月市議会定例会での改定案に対する意見などを踏まえ、改定料金などを一部修正しました
●修正した公共料金については、令和８年１２月市議会定例会に、関係条例改正案を提出予定です

補正予算 常任委員会

９月１０日に議案２件、１０月９日に議案１件を審査しました。

９月１０日　１０月９日

行政改革等 特別委員会

８月２４日に、今後の事業見直しの方向性について（報告）を審査しました。

藤沢都心部再生・公共施設再整備 特別委員会

８月３１日に、ＯＵＲ Project（生活・文化拠点再整備事業）の検討状況についてを審査しました。

会派変更（１４ページ参照）に伴い、 ９月１５日以降は一部の委員会の委員構成が変わっています。詳しくは２次元コードからご確認ください。



一般質問



９月定例会では、２５人の議員が、一般質問を行いました。
記載内容は、質問および答弁内容の抜粋・要約です。全体を確認したい場合は、録画中継（２次元コードから読み込み）または会議録をご確認ください。
一般質問の内容についてのご質問は、質問を行った議員または議会局へお問い合わせください。

9.15(火) 01 本に親しみ、本を手に取るまちづくり



市民クラブ藤沢
町田　輝佳

Q　本との出会いを通じて、何かに興味を持ち、新たな知識を得た経験は誰しもがある。日頃から多くの方が本に親しみ、本を手に取るような、本市の文化力を維持することが重要である。図書館と書店が共存することがまちの文化力にとって重要だが、南市民図書館を始めとする今後の図書館行政は、中長期的な視点に立った議論や計画が必要であるが、市の見解を聞きたい。

A　図書館としても、中長期的な視点に立った図書館計画の必要性は認識している。さまざまな世代が利用・滞在しやすい環境づくりなども含め、本や学びとの出会いを届け、読書に親しむ機会を提供できるよう、本市図書館の将来像についての議論を深め、図書館計画の策定に向けて取り組む。

9.15(火) 02 藤沢市の雨水対策



民主クラブ藤沢
安田　景輔

Q　大雨が激化し、排水機能を超える浸水被害が増えている。本市の雨水施設の整備水準と内水氾濫の区域の公表状況は。

A　雨水管理総合計画により、重点対策地区では６６ミリメートル毎時の降雨に対応する施設規模を目指している。また、本市の降雨の最大規模を１５３ミリメートル毎時と想定した雨水出水浸水想定区域を市ホームページで公表した。

Q　想定以上の水害も起こり得る。市民自らが命と財産を守るための自助を後押しする支援策が必要だが、水害の未然防止に向けた市の取り組み状況は。

A　本年４月から、止水板の購入または設置工事費用の２分の１、最大５０万円を補助する制度を開始した。広報ふじさわやＳＮＳなど、さまざまな機会で制度の周知に努めている。

9.15(火) 03 女性トイレを増やし行列解消を



日本共産党藤沢市議会議員団
加藤　彩野

Q　トイレ数の男女差を改善し、行列を解消するため、公共施設の整備時は状況調査などを行い、国のガイドラインに基づき課題解消と整備をするべきと考えるが、市の見解は。

A　施設のトイレ利用者数の推測などを行い、整備を進めていく。行列の発生要因などを勘案し、男女を問わず誰もが快適にトイレを利用できる環境の実現を目指していく。

Q　学校の再整備時には積極的なトイレの洋式化や男女比の改善に取り組むべきと考えるが、市の見解は。

A　学校トイレの洋式化は、再整備時に限らず工事やリース、修繕において進めている。トイレ数の男女比については、再整備時に国のガイドラインを参考にし、児童生徒が快適にトイレを利用できるよう検討していく。

9.16(水) 04 子どもへの性暴力の根絶を



民主クラブ藤沢
竹村　雅夫

Q　令和８年１２月にこども性暴力防止法が施行されるが、本市立学校では、どのような取り組みを行うのか。

A　服務規程などの見直し、教員などに対する研修の実施、教室などの環境整備、児童生徒および保護者に対する啓発、相談体制の整備などを進め、児童生徒への性暴力の防止に努めるとともに、新たな制度である犯罪事実確認にも取り組む。また、性暴力につながる恐れのある行為をあらかじめ懲戒事由として定めるなどの対応について、神奈川県教育委員会とも連携し調整を進める。性暴力は児童生徒の心身に生涯にわたって回復しがたい重大な影響を与えるものであるということを改めて共有するとともに、児童生徒への性暴力は絶対に起こしてはならないという組織風土の醸成に努める。

一般質問とは？

議員が市長をはじめとした執行部に対して、市政運営全般の執行状況や将来の方針などを質問することです。

9.16(水) 05 アンダーパスの予防的通行止め導入を!



藤沢市公明党
今井　みきこ

Q　千葉県で発生したアンダーパスでの自動車水没を踏まえ、道路冠水注意箇所が多い本市でも水害対策が必要である。

例えば、冠水前からの通行規制や、冠水時に自動で通行止めにするエアー遮断機の導入などを検討すべきと考えるが、本市における水害発生時の対応を聞きたい。

A　過去の冠水状況などを考慮し、必要に応じた対策を組み合わせて講じている。また、市内１３カ所あるアンダーパスのうち、市が管理する１０カ所を含め、冠水の恐れがある箇所は、状況に応じて職員が直接確認し、危険水位を超えると判断した場合には、通行止めとしている。



9.16(水) 06 成長産業への支援



市民クラブ藤沢
石川　麻央

Q　航空・宇宙産業に取り組む事業者への支援について、市の考えと今後の取り組みは。

A　市内にも関連企業が複数あり、成長性の高い企業として注目している。市内企業からは振動試験などの施設不足の声もあり、課題や支援ニーズを神奈川県に伝えるとともに、国や県の支援施策を活用できるよう支援していく。

Q　村岡新駅周辺でのヘルスイノベーション分野などを中心とした産業支援について、市の考えは。

A　湘南アイパークなど周辺企業との連携の核となる新たな研究開発施設を新駅北側の市有地に誘致するとともに、産業集積への支援を強化し、世界に誇れる研究開発拠点となるよう取り組む。

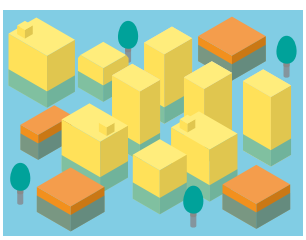
9.16(水) 07 防災対策にデジタル技術を



藤沢市公明党
松尾　宏之

Q　ＧＩＳ（※１）とProject PLATEAU（※２）の３Ｄ都市モデルを組み合わせ、３次元で立体的に災害リスクを把握し、市民が避難行動をシミュレーションできる環境整備が重要であると考える。今後、デジタル技術を連携し、モデル地区などから段階的に実装していく予定はあるのか。

A　デジタル技術の活用は、有効な手法であると認識しているが、データ活用の十分な検証が必要であり、運用面での課題整理も重要である。他自治体の先進事例や運用手法を参考にし、段階的な実装に向けて研究していく。



9.16(水) 08 高齢者の移動支援に交通網の整備と経済的支援を



日本共産党藤沢市議会議員団
土屋　俊則

Q　本市が実施した令和７年度高齢者の保健・福祉に関する調査では、今後優先すべきと考える高齢者施策の上位３番目が外出支援である。これは、交通費が高いことや最寄りのバス停が遠いことなどにより、外出できない高齢者がいるためである。この結果をどう受け止めているのか。

A　高齢者の外出は、移動による運動効果や外出先での交流など、日々の健康を維持し、介護・フレイル予防につながると捉えている。身体的状況や居住環境などにより外出が困難な方への移動支援に取り組むとともに、外出しやすい環境づくりなどにも取り組む必要があると認識している。



用語解説

（※１）ＧＩＳ（Geographic Information System）…地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を視覚的に表示し、高度な分析や判断を可能にする技術。

（※２）Project PLATEAU…現実の都市空間をデータ上で再現した３Ｄデジタル地図を、整備・活用・オープンデータ化する国土交通省主導のプロジェクト。

一般質問ルール1

一般質問は通告の順、つまり届け出をした順番で行います。

9.17(木) 09 時代に沿った藤沢駅前ガイドラインの運用を!



市民クラブ藤沢
栗原　貴司

Q　藤沢駅周辺の商業施設建て替えにおいて、市街地再開発事業は有効な手法ではあるが、用途を制限することが、足かせになっているとも感じる。市の考えを聞きたい。

A　市街地再開発事業は敷地の共同化や高度利用を図る上で有効な手法である。一方、用途制限については、まちづくりの秩序や安全性、周辺環境との調和を図るために必要だが、一定の制約となっていることも認識している。

そのため、藤沢駅前街区まちづくりガイドラインに基づき単純に緩和するのではなく、関係者と意見交換をしつつ、バランスを考慮しながら協議調整を行い、民間施設の建て替えなどを促進していく。今後も関係者と対話を重ねながら、官民一体となって都市機能の充実と魅力向上を図っていく。

9.17(木) 10 宿泊税導入に向けた検討を



湘風維新無所属の会
友田　宗也

Q　本市では年間２１００万人を超える観光客が訪れる。受け入れに伴い、公共空間や公衆トイレの維持、ごみや自然環境への対策、観光案内など、さまざまな行政需要が生じている。こうした行政需要の全てを市民の税負担で支えるのではなく、本市を訪れる方にも負担をお願いし、その財源を観光環境や受け入れ環境の向上に還元していくべきではないか。宿泊税の導入を検討すべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

A　宿泊税については、市政運営において自主財源確保の観点で重要な制度の一つであると捉えている。今後は本市の観光エリアと密接な関係のある鎌倉市の状況など、他自治体の事例を踏まえた上で、調査・研究に努めていきたい。



9.17(木) 11 駐輪場の増設とサービス向上



市民クラブ藤沢
井上　裕介

Q　駐輪場空き状況のリアルタイムでの確認や、月決めに関して順番待ちやいつ空くかの確認ができないが、サービスを充実させていくべきではないか。



A　今後、駐輪場の空き状況をリアルタイムで確認できるシステムの検討と月決めの情報提供も含めた利便性の向上を図りたいと考える。

Q　市民から駐輪場増設に関する多くの意見をいただいており、特に藤沢駅北口・南口が不足していると思う。さまざまなアイデアにより駐輪場を整備することが必要では。

A　藤沢駅南口では、歩道スペースを有効活用した新たな路上駐輪場の整備計画について提案を受けており、交通管理者との協議を進めつつ、調整を行っている。

9.17(木) 12 将来を見据えた財政構造改革



藤沢市公明党
塚本　昌紀

Q　本市の財政は危機的な状況にはあるが、まだ改革の選択肢はあり、財政健全化判断比率も健全な水準である。余力がある今、将来を見据えて財政構造を改革し、持続可能な行政経営への転換を図るべきと考えるが、市長の決意を聞きたい。

A　１１事業を立ち止まるという苦渋の決断をしたが、物価高騰などの影響を受けた本市財政が、将来にわたり健全であるために決断したものである。今後は限りある資源の最適配分を図るなどにより、市政運営に努めていく必要があり、財政構造改革の見える化など、安定した財政に基づく市政となるよう、実現に向けて取り組んでいく。本市が将来に向けて発展し、いつまでも本市に住み続けたいと思ってもらえるよう、私が先頭に立ってこの難局を乗り切っていく。

一般質問ルール2

一般質問は質問と答弁合わせて６０分以内に行います。

9.17(木) 13 多様な避難環境の整備を



市民クラブ藤沢
松長　由美絵

Q　障がいのある方や乳幼児連れの方など、多様な事情に対応するとともに、飼い主とペットが同じ室内で過ごせる避難先の整備を求める。学校の教室などの活用や、公共施設、民間施設も含めた新たな避難先をどのように確保していくのか。

A　避難所では、パーテーションなどを活用し区画を分けるよう、避難所運営マニュアルに記載しており、避難所運営委員会が状況に応じて取り組む。学校施設は原則として体育館を基本とするが、大規模災害時などには、被災状況に応じ、あらかじめ定めた教室を要配慮者の避難場所として活用することも想定している。また、授業再開によって教室が使用できなくなることも見据え、新たな場の確保に向けた取り組みを進め、ソフト・ハードの両面から避難所環境の改善を図る。

9.18(金) 14 介護予防ケアマネジメント力の資質向上へ



民主クラブ藤沢
谷津　英美

Q　地域包括支援センターの介護予防ケアマネジメント力の資質向上を図るため、新たな指標を活用し、評価情報を公表することが必要と考えるが、市の見解を聞きたい。

A　評価に当たっては、実施件数などのアウトプット指標、生活機能の維持・改善や本人の状態変化といったアウトカム指標も適切に活用し、支援の質を検証していく必要がある。最新情報の公表については、事業実施状況や課題分析、改善への活用などを重視していることから、対応を検討している。介護予防ケアマネジメントについては、介護予防と自立支援の視点に立ち、本人の状態や生活課題に応じた提案や情報提供を行いながら個別支援につなげられるよう地域包括支援センターの評価を踏まえ、ケアマネジメント力の向上に努める。

9.18(金) 15 保健医療センターを交流の場に



藤沢市公明党
東木　久代

Q　健康を広い概念から捉え、身体活動だけでなく心の健康や人とのつながり、生きがいなど、健康を総合的に捉えた事業を実施できないか。

A　健康増進を図る上で、健康を広い概念で捉えることは重要だと認識しており、交流を促進する事業について、今後検討していく。

Q　ロビーでのアート展示などにより、多世代が利用する交流の場にすることや、他団体などとの共催・協働はできないか。

A　本施設の管理・運営主体である保健医療財団は、公益財団法人としての定款に基づき事業展開しているが、交流の場を増やし、集うことは、健康増進の一助になると捉えている。協働の取り組みについて、今後検討していく。

9.18(金) 16 これからのまちづくりについて



市民クラブ藤沢
桜井　直人

Q　今後、辻堂駅北口周辺の交通渋滞対策をどのように行うか。

A　交通渋滞の現状把握および課題の整理を行うため、交通量調査を実施した。併せて周辺駐車場の利用状況の把握を行い、そのデータを基に交通管理のソフト施策などによる改善方策を検討する。短期的に対応可能な対策の実装に向け、交通管理者や商業事業者と調整を進め、課題改善に取り組んでいく。

Q　湘南Ｃ－Ｘ地区の市有地Ｃ－１街区は、まちの魅力を高める可能性を持つ土地。今後の活用について市の見解は。

A　暮らし・健康・遊び・学びを生かした土地活用を検討し、機能や街区のポテンシャルの再整理など行い、１０年２０年先、その先を見据えて、湘南Ｃ－Ｘ地区のまちの発展、まちの価値向上につなげられるようスピード感をもって取り組む。

一般質問ルール3

一般質問の発言方法は、一問一答方式（質問と答弁を交互に行う方法）と一括質問方式（最初にまとめて質問した後、まとめて答弁を行う方法）の２種類あり、議員がどちらにするか選びます。

9.18(金) 17 事業計画の見直し



民主クラブ藤沢
柳田　あゆ

Q　市長任期満了となる令和１０年２月までに先送り事業の再開期日や計画縮小などの道筋をつけるべきと考えるが、市長の考えを聞きたい。

A　立ち止まることとした事業については、税収や事業費見込などを精査し、再開時期を慎重かつ早急に見定める必要がある。これらの事業は、本市が住み続けたいと思えるまちとして発展するための重要な取り組みである。変化への挑戦と捉え、物価高騰下における行財政運営、特に老朽化した公共施設の再整備に当たっては、過度な負担を残さないよう取り組む。残された任期で持続可能な財政運営の道筋をつけ、見直しを進める。再開時期の見通しは方向性が定まり次第、速やかに報告する。早期再開できるよう、最大限の努力を重ねる。

9.18(金) 18 女性の将来的な健康のために



湘風維新無所属の会
西川　誠志

Q　若い女性の痩せの現状とそのリスクの周知についてどのような媒体・機会を通じて市民に伝えているのか聞きたい。

A　ホームページや広報ふじさわを活用している。また、令和７年度は骨粗しょう症予防をテーマとした講座で骨密度測定を実施し、８年度は新たにＨＰＶワクチン予防接種通知の封筒に情報を記載したほか、Instagramの投稿も行った。

Q　乳幼児健康診断や育児相談を保護者自身の健康づくりの場として設計し直す考えについて本市の考えを聞きたい。

A　長期的な視点による健康の確認が求められること、会場における動線の分離や対応時間の延長に伴う体制の確保などに課題がある。啓発とともに健康診断や育児相談の場で試行することも含めて実施の在り方を研究していきたい。

9.24(木) 19 市の広報番組制作委託料は費用対効果に問題あり



無所属藤沢
森井　健太郎

Q　５０００人に毎年実施している市民アンケートでは、「今後、どのような手段で市からの情報を入手したいですか。」という問いに対して、ラジオはわずか０．１％である。にもかかわらずＦＭ放送には、毎年およそ５０００万円近くが、市から委託料として支払われている。これは民間事業者に対する事実上の経営支援となっていないか。

A　ＦＭ放送事業の受託者については、日頃の市政情報の発信に加えて、災害時に緊急情報を発信するなど公的な役割を担う一方、民間事業者としての自律的な経営や収益性を確保していくことは大前提であり、市からの委託料に依存した経営であってはならないと考えている。今後についても、業務委託の内容の精査・見直しについて、検討していく。

9.24(木) 20 持ち家住居手当の早期廃止を



藤沢・凛新の会
神尾　江里

Q　市職員個人の資産形成につながる持ち家住居手当の令和７年度決算見込額はいくらか。

A　約２億円である。

Q　この持ち家住居手当の直近１０年間の決算総額は、およそ２８億７９００万円。国や神奈川県からも廃止するよう見直しが求められ、全国の９割以上の自治体で廃止されている。市民の貴重な税金がこの住居手当に充てられ続けている現状は、本市の厳しい財政運営において市民の理解を得られない。関係団体との協議を理由に何年も先送りされ続けている現状がある。持ち家住居手当の早期廃止に向けて、市の考えは。

A　議員の方々からも度々ご意見をいただいており、廃止に当たっては、引き続き関係団体と協議の上、検討を進めていく。

9.24(木) 21 市財政ピンチをチャンスに変えよう！



アクティブ藤沢
原田　建

Q　老朽化進む学校再整備などを立ち止まる一方、２５年ほど先に黒字化見込む村岡新駅最優先は説明できない。周辺企業へ受益者負担求め４者協定の市費負担見直すチャンスでは。

A　ＪＲ、神奈川県、鎌倉市との４者協定見直しは困難。周辺企業からの負担は地域貢献など含め協力を求めていきたい。

Q　藤沢市暮らし応援カードは８月末の未利用者３６％と税金を生かせていない怠慢な事業。長後まちおこし商品券事業に倣えば税金を生かす地域づくりへ市政転換のチャンスでは。

A　長後商店街と地元自治会連合会が連携協議をしていたことで構築できた事業で、地域経済の活性化に寄与するとともに、自治会加入者にメリットを感じてもらい、二次的効果で防災や子ども・高齢者の見守りなど地域力向上を期待している。

9.24(木) 22 市民の人権を守る行政推進を



日本共産党藤沢市議会議員団
柳沢　潤次

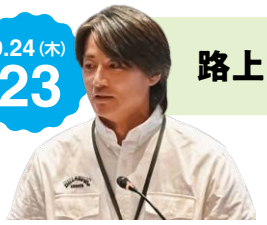
Q　デジタル行政推進法、個人情報保護法の改定は、個人情報を一定条件で民間提供できるようになり住民の個人情報・プライバシー流出の恐れが増大すると思われる。市の見解は。

A　国が整備するガバメントクラウドを利用することにより、個人情報の流出などに対して、高度なセキュリティ対策が確保できると考えている。

Q　国のガバメントクラウドは、海外のクラウド会社がデータを集中管理することで、デジタル関連企業に支配されることを危惧するが、見解を聞きたい。

A　データセンターの所在地を日本国内にすることが義務付けられ、紛争の解決に当たっては日本法が適用されるため、デジタル関連企業に支配される懸念はないと認識している。

9.24(木) 23 路上喫煙と海洋ごみ対策



市民クラブ藤沢
佐賀　和樹

Q　路上喫煙を減らすことは、受動喫煙やポイ捨て防止、街の美化、海洋ごみの削減にもつながる。きれいで住みよい環境づくり条例施行２０年を機に、禁止区域や喫煙環境、指導体制、過料制度、多言語化を含め、総合的に検証し、必要な見直しを行うべきではないか。

A　加熱式たばこの普及や観光客の増加、健康増進法の改正など社会環境は大きく変化している。受動喫煙防止や環境美化、海洋ごみ対策といった多角的な視点から路上喫煙問題を捉えることは重要であり、これまでの取り組みを総括し、現状の課題を整理する必要がある。今後は、整理した課題を踏まえ、指導体制の強化や多言語化をはじめとした効果的な周知・啓発手法の改善など、運用面での見直しを実施する。

9.25(金) 24 観光×防災『おもてなし防災』



市民クラブ藤沢
石井　世悟

Q　「おもてなし防災」は防災意識を高めるだけでなく、安全・安心な観光地の魅力アップにもつながる。この考え方を取り入れたブランディングで、より質の高い観光ステージを目指す必要があると思うが、市の考え方を聞きたい。

A　国内外から多くの観光客が訪れる本市において、災害時における避難情報の提供、多言語による案内、観光事業者との連携など、観光客が安心して滞在できる環境面の強化につながり、藤沢の満足度をさらに高めるものと捉えている。本市においては、既存の防災力を観光価値につなげる取り組みと捉え、令和９年度に行う藤沢市観光振興計画の中間見直しにおいて、その効果や課題を検証し、今後の観光危機管理の取り組みとして位置付けることを検討していく。

9.25(金) 25 広告を生かした新たな歳入確保を



市民クラブ藤沢
西　智

Q　行政サービスを維持するためには、歳出の見直しと併せて自主財源の確保が必要。市民が負担する公共施設の使用料や各種手数料を３年ごとに見直す一方、公用車は平成１７年から、広報ふじさわは平成１６年から広告料金が変更されておらず、いずれも広告枠は埋まっている。定期的に検証し、その判断根拠を明確にする必要があると考えるが、市の見解は。

A　令和７年度に市ホームページの広告掲載料を見直した。その他の媒体も、実態に即して適宜判断する。

Q　歳入確保と経費削減のため、公用共通封筒に広告収入を活用した無償提供方式を導入すべきと考えるが、市の見解は。

A　他自治体の導入事例や効果、課題などを情報収集し、本市における適用の可能性を研究する。

議案等審議結果

○：賛成　×：反対　▲：賛否が分かれる
ー：陳情を審査する委員会（付託委員会）への委員選出なし

９月定例会に提出された議案などの審議結果は次のとおりです。

番号	件名	付託委員会	年月日	結果	各会派の賛否						
					市民クラブ	民主クラブ	湘風維新無所属の会	公明党	共産党	アクティブ藤沢	無所属
市長提出											
22	財産の取得について（災害用自動ラップ式トイレ）	付託せず	8.9.3	可決	○	○	○	○	○	○	○
23	財産の取得について（プロジェクターほか）										
24	工事請負契約の締結について（富士見台小学校空調設備更新及び新設工事（機械））										
25	工事請負契約の締結について（富士見台小学校空調設備更新及び新設工事（電気））										
26	工事請負契約の締結について（辻堂小学校改築等工事（第１期建築工事））										
27	工事請負契約の締結について（辻堂小学校改築等工事（第１期機械設備工事））										
28	工事請負契約の締結について（辻堂小学校改築等工事（第１期電気設備工事））										
29	工事請負契約の締結について（片瀬中学校空調設備更新及び新設工事（機械））										
34	指定管理者の指定について（本鵠沼駅第１自転車駐車場）										
35	藤沢市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について										
38	藤沢市都市景観条例の一部改正について										
39	藤沢都市計画事業北部第二（三地区）土地区画整理事業施行条例の一部改正について										
陳情											
11	犬猫の生体販売規制の強化及び保護犬猫譲渡推進に関する陳情	厚生環境	8.9.7	趣旨不了承	×	×	○	×	○	ー	ー
12	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書を国に提出することを求める陳情	総務	8.9.9	趣旨了承	○	○	×	○	○	ー	×
13	障がい者施設入所者の藤沢市移動支援の取り扱いについての陳情	厚生環境	8.9.7	趣旨不了承	×	×	×	×	○	ー	ー
14	スズメバチの巣撤去業務の復活を求める陳情			趣旨了承	×	○	○	○	○	ー	ー
15	加齢性難聴者の補聴器購入助成を求める陳情			趣旨不了承	×	×	×	×	○	ー	ー
16	国に対し、OTC類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の陳情										

会派構成

会派…政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成し、活動するグループ

会派名（省略表示）	人数	所属議員	会派名（省略表示）	人数	所属議員
市民クラブ藤沢（市民ク）	11人	代 佐賀　和樹　小池　恵子　石井　世悟 西　智　桜井　直人　町田　輝佳 栗原　貴司　松長由美絵　石川　麻央 山口　政哉　井上　裕介	民主クラブ（民主ク）	8人	代 竹村　雅夫　大矢　徹 柳田　あゆ　安田　景輔 須田　一行　神尾　江里 谷津　英美　安藤　好幸
湘風維新無所属の会（湘維無）	6人	代 甘粕　和彦　佐野　洋　吉松　巳希 西川　誠志　友田　宗也　有賀　正義	藤沢市公明党（公明党）	5人	代 塚本　昌紀　松尾　宏之 今井みきこ　平川　和美 東木　久代
日本共産党藤沢市議会議員団（共産党）	4人	代 柳沢　潤次　土屋　俊則　味村耕太郎 加藤　彩野	アクティブ藤沢（アクテ）	1人	代 原田　建
			無所属藤沢（無所属）	1人	代 森井健太郎

※令和８年９月１０日時点の会派構成です

会派の変更

９月１１日付で会派の変更がありました。

■会派変更

「民主クラブ藤沢」（７人）（民主ク）　代 竹村　雅夫　大矢　徹　柳田　あゆ　安田　景輔　須田　一行　安藤　好幸　谷津　英美

■新会派結成

「藤沢・凛新の会」（１人）（凛新）　代 神尾　江里

（※会派内の氏名は、会派代表者を除き議席番号順。代…会派代表者）

番号	件名	付託委員会	年月日	結果	各会派の賛否							
					市民クラブ	民主クラブ	湘南維新無所属の会	公明党	共産党	アクティブ	無所属	凛新
市長提出												
30	工事請負契約の変更契約の締結について（小糸川護岸改修工事）	付託せず	8.9.15	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
31	工事請負契約の変更契約の締結について（藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業）											
32	市道の認定について（六会９２３号線ほか２路線）	建設経済										
33	市道の廃止について（片瀬４９－１号線ほか１路線）											
36	藤沢市市税条例の一部改正について	総務										
37	藤沢市手数料条例の一部改正について											
40	藤沢市青少年会館条例の一部改正について	子ども文教			○	○	○	○	×	○	○	○
41	藤沢市太陽の家（心身障がい者福祉センター）条例の一部改正について	厚生環境			○	○	○	○	×	×	○	○
42	藤沢市自転車等の放置防止に関する条例及び藤沢市自転車等駐車場条例の一部改正について	建設経済			○	○	○	○	×	○	○	○
43	藤沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正について	厚生環境			○	○	○	○	×	×	○	○
44	藤沢市西富墓地条例の一部改正について											
45	藤沢市八ヶ岳野外体験教室条例の一部改正について	子ども文教			○	○	○	○	×	○	○	○
46	藤沢市ふじさわ宿交流館条例の一部改正について											
47	藤沢市立看護専門学校条例の一部改正について	厚生環境			▲※1	○	○	○	×	×	×	○
48	令和８年度藤沢市一般会計補正予算（第３号）	補正予算			○	○	○	○	×	○	○	○
49	令和８年度藤沢市民病院事業会計補正予算（第１号）				○	○	○	○	○	○	○	○
50	令和７年度藤沢市下水道事業費特別会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算	8.10.9	可決及び認定	○	○	○	○	×	○	○	○
51	教育委員会委員の任命について	付託せず	8.9.29	同意	○	○	○	○	○	○	○	○
52	固定資産評価審査委員会委員の選任について											
53	工事請負契約の締結について（旧桔梗屋保全活用事業の施設整備）		8.10.9	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
54	工事請負契約の締結について（南消防署本町出張所（第９分団）新築工事（建築工事））				○	○	○	○	○	○	○	○
55	工事請負契約の締結について（南消防署本町出張所（第９分団）新築工事（電気設備工事））											
56	令和８年度藤沢市一般会計補正予算（第４号）	補正予算										
議員提出												
2	藤沢市議会基本条例の一部改正について	付託せず	8.10.9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
3	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書について				▲※2	○	×	○	○	○	×	○
認　定												
1	令和７年度藤沢市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算	8.10.9	認定	○※3	○	○	○	×	×	○	○
2	令和７年度藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算の認定について				○	○	○	○	×	○	○	○
3	令和７年度藤沢市墓園事業費特別会計歳入歳出決算の認定について				○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和７年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定について				○	○	○	○	×	○	○	○
5	令和７年度藤沢市介護保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定について											
6	令和７年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計歳入歳出決算の認定について											
7	令和７年度藤沢市民病院事業会計決算の認定について				○	○	○	○	○	○	○	○
請　願												
1	ごみ袋の値上げは中止することを求める請願	厚生環境	8.9.15	不採択	×	×	×	×	○	○	×	×
2	日本政府に非核三原則の堅持を要請する意見書提出を求める請願	総務		採択	▲※4	○	×	○	○	○	×	○

※１　賛成した議員：石井世悟、西智、桜井直人、佐賀和樹、町田輝佳、栗原貴司、松長由美絵、石川麻央、井上裕介
　　反対した議員：小池恵子
※２　賛成した議員：石井世悟、西智、桜井直人、佐賀和樹、栗原貴司、石川麻央、井上裕介
　　反対した議員：小池恵子、町田輝佳、松長由美絵
※３　退席した議員：小池恵子
※４　賛成した議員：石井世悟、西智、桜井直人、佐賀和樹、栗原貴司、松長由美絵、石川麻央、井上裕介
　　反対した議員：小池恵子、町田輝佳

発行　藤沢市議会　編集　広報広聴委員会　発行日　令和8年（2026年）11月10日
電話　0466-50-3566（直通）FAX 0466-24-0123　ホームページアドレス https://shigikai.city.fujisawa.kanagawa.jp/

議員全員協議会を開催しました

議員全員協議会とは、市政上の重要な問題や議会の運営に関する事項などを協議するため、全議員が集まって行う会議です。

8月24日

今後の財政状況を見据えた事業のあり方について



会議の様子はこちら

9月3日

藤沢市議会基本条例の一部改正について



会議の様子はこちら

第12回カフェトークふじさわ



ポスター作成へのご協力ありがとうございました

詳細はこちら



市内中学生が作成しました!!

議会の動き

9月定例会の会期日程については、2次元コードからご覧ください。

知っていますか？ 請願・陳情の制度

請願・陳情は、自分の意思を議会に伝える方法のひとつです。
12月定例会では、11月26日（木）正午までに提出されたものを審査します。

次の定例会は

12月1日（火）～12月22日（火）

点字と声の議会だより お届けします

【お問い合わせ】
議会局議事課
TEL 0466-50-3566（直通）

議会だよりの感想をお寄せください

分かりやすく、手に取りやすい紙面を目指しています。

2次元コードの読み取りに不安がある方は、遠慮なく議会局へお問い合わせください。
【お問い合わせ】議会局議事課　TEL 0466-50-3566（直通）